

# 南信州広域連合第9回広域連合会議 結果報告

日時：平成27年12月15日(火)15:11～15:51

場所：南信消費生活センター 会議室

## 1 開 会…15:11

【出席者】14市町村長・佐藤副管理者

〔下伊那地方事務所〕有賀所長・松田副所長・今井地域政策課長・細野地域政策課長補佐兼企画振興係長

〔飯田保健福祉事務所〕寺井所長

〔飯田建設事務所〕水間所長

〔飯田市〕今井建設部参事・下平建設部国県リニア事業課リニア事業係長

〔NPO法人南信州クラブ〕小澤理事長

〔町村会〕牛久保事務局長

〔飯田広域消防〕桂消防長・関島消防次長兼総務課長

〔飯田環境センター〕田見事務局長・北原事務局長補佐兼新焼却施設整備担当専門主査

【事務局】渡邊事務局長・塚平事務局次長・北原事務局次長補佐兼庶務係長・秦野事務局次長補佐兼広域振興係長・下島介護保険係長・前沢庶務係主事

## 2 広域連合長挨拶

本日はリニア関係・信州大学の航空機システム学科設置及びコンソーシアム等の重要案件の協議について、よろしくお願い申し上げます。

## 3 協議・報告事項

### (1) リニア関連道路整備について（飯田市国県リニア事業課）

…資料1による説明（水間飯田建設事務所長）

本事業は飯田建設事務所と飯田市が連携して進めている。12月10・11日に開催した説明会（上郷地区・座光寺地区にて計4回）の状況について、県の立場から説明。

資料1-1について…国道153号飯田北改良ルートは延長約2.6km。現在2車線の国道（幅8.5m）を、4車線の車道と両側に歩道を設けて25.5mとする案。高屋交差点から座光寺方面へ、現道に対して東側または西側に寄せながら拡幅していく計画。東西への寄せ方については既存の道路等の取付け・地形の高低差及びリニア中央新幹線との交差等の条件をふまえ、それらを満足できる形で実施するには図のように東西へ寄せることとなる。新たに用地として必要になる面積は38,000㎡、それにより支障となる事業所及び住宅等の戸数は60軒。説明会の参加者からは工事中及び完成後の道路の安全確保についてや、この改良に係る代替地の確保についてのご意見をいただいた。

資料1-3について…座光寺上郷道路は延長約2.8kmの新設道路。基本は登坂車線を含む3車線（幅11.0m）。リニア駅に近い側は、駅へ向かうための右折車線が加わり4車線（幅21.0m）。特徴については、国道153号との平面交差点ができ、立体交差でJR飯田線の下及びフルーツラインの下を通過。南進した先でフルーツラインとのアクセスをインターチェンジ形式で検討。北進し立体交差で上県道飯島飯田線の上を通過し座光寺PA方面へ向かう計画。用地買収の面積は50,000㎡、それにより支障となる事業所及び住宅等の戸数は40軒。この計画に際して周辺の環境が大きく変わるため、既存の住宅への近接の問題や農地への影響等についてのご意見をいただいた。

今後も各地区別へ詳しい説明をさせていただく中で、住民の皆様方のご意見を伺って丁寧に対応していく必要がある。飯田市との連携を密にして進めて参りたい。

…資料1による説明（今井建設部参事）

資料1-2について…座光寺スマートIC（仮称）新設ルート。スマートICについては、料金所は上下線別に設置し、車長12m以下の車両が24時間通行可能。上り線については座光寺PAの出口側へ接続して料金所を通過、中央道を渡る橋を新たに架けて飯島飯田線へ接続する。下り線についてもPAの出口側へ接続して料金所を通過、途中一般市道に接続し飯島飯田線へ接続する。飯島飯田線とは立体交差し、県で検討を進めている座光寺上郷道路へ接続する。PAから一般道に接続するまでの部分は幅10.0m、接続する一般道は幅7.5m（いずれも2車線）。

資料1-4について…飯田市公共事業用地の取得に伴う代替地登録制度の趣旨は、リニアに係る各種事業及び飯田市等が行う公共事業全般の用地取得に対して、代替地を希望される方々へ代替地要望・提供を目的としている。飯田市は代替地として土地を提供していただく方の土地情報を収集する支援として、代替地登録制度実施要綱を作成している。当面は土地情報の収集を目的とし、登録された情報の閲覧等の提供についてはそれぞれの公共事業に係る地権者に対して公平に進めていく。飯田市としては、代替地として土地を売却または貸付してもよいという土地の情報を収集しているので、お知り合いの方々にこの制度のことをお知らせいただきたい。

【質疑】（熊谷高森町長）

「飯島飯田線への接続については構造検討中」とあるが、何らかの形で座光寺スマートICとは接続するのか。飯島飯田線からアクセス道路へすぐ進入できるのか。

【応答】（今井建設部参事）

スマートICからアクセス道路は、立体交差で飯島飯田線とは直接繋がらないが、ランプ形式で接続できるように現在検討中。

【質疑】（熊谷高森町長）

高架橋のようなものがあって、側道を通って乗り降りできるようなイメージでよいか。ぜひ利便性が向上するような形にしてもらいたい。

【応答】（今井建設部参事）

ここの地形は非常に勾配があるためイメージとしてはICのような形。どのような形が可能かというのは契約状況等を検討しながら進めていきたい。

【質疑】（熊谷阿智村長）

スマートICは大型バスの通過は不可能か。

【応答】（今井建設部参事）

「車長12m以下」で考えており、観光バスの通行までは想定している。

【質疑】（深津松川町長）

資料1-3のフルーツラインに取り付く場所は、JAの選果場付近か。

【応答】（今井建設部参事）

図の右側に接続する部分がJAの選果場。その交差点のところを目指すという形。

## (2) 信州大学航空機システム学科設置に向けたコンソーシアムへの参加について

…口頭による説明（渡邊事務局長）

近々に準備会等の開催が予定されている中で、南信州キャンパスに繋げていくために広域連合がコンソーシアムのメンバーとして参画していくことと、一定の資金援助についても広域連合として考えていくことを、改めてこの場で確認をお願いしたい。具体的な金額等については、正副連合長・部会長の会議で素案を検討いただき、連合会議等に諮って参りたい。

【質疑なし】

## (3) 南信州地域公共交通網形成計画について

…資料6による説明（秦野事務局次長補佐兼広域振興係長）

資料は計画案（内容の抜粋）。11月の連合会議で確認いただいた骨子に基づき、具体的な目標・評価基準（目標値）・定義・路線体系及び今後の検討課題等についてまとめた。今後、この計画案を基に再度12月18日の策定委員会でさらに検討し、仕上げとしてパブリックコメントを実施し、南信州地

域交通問題協議会への提出案を確定していきたい。

【質疑なし】

(4) 長野県飯伊医療圏地域医療構想調整会議の委員の推薦について

…資料4による説明（塚平事務局次長）

地域医療構想について。平成26年に国が「医療介護総合確保推進法」を策定し、都道府県において医療計画の一部として「地域医療構想（ビジョン）」を策定することとされた。この「地域医療構想」については2025年に向け、病床の機能分化・連携を進めるために、医療機能ごとに2025年の医療需要と病床の必要量を推計し、定めるものとされている。この構想を定めるための構想区域が二次医療圏とされていることから、当地域においては南信州圏域を構想区域として今後策定されていく。今後のスケジュールとして、県の保健福祉事務所に事務局となり、来年1月を目途にスタートし、平成28年度を基に進めていく。この構想調整会議の委員名簿には市町村代表として南信州広域連合が充てられている。先日開催された正副部会長会議において、この調整会議の委員として泰阜村長（環境・福祉・医療部会長）に広域連合を代表しての市町村代表委員に推薦したい。ご承認願いたい。

…資料4による説明（寺井飯田保健福祉事務所長）

来年の1～2月に第1回の会議を行い、平成28年度に3回程度予定している。2025年に向けてこの地域にふさわしいバランスのとれた医療供給体制をご教授いただきたい。

【質疑なし、委員承諾】

(5) 稲葉クリーンセンター施設整備について

…口頭による説明（田見飯田環境センター事務長）

工事等の進捗状況報告。建屋の建築工事については11月26日に建築確認が許可されたため、12月7日より工場棟及び管理棟の基礎工事に着手した。現在は基礎工事の地盤改良及びごみピット地下部分の掘削を行っており、今年度中に地盤改良を完了し、ごみピット等の施工実施を考えている。来年4月以降に建屋の立ち上げを行う。計画に沿って工事が進められるように工程管理を徹底していく。

【質疑なし】

(6) 医療と介護連携事業の体制について

…口頭による説明（渡邊事務局長）

基本的には市町村の事業あるいはそれぞれ団体でということだが、それらを広域的に連絡調整を図っていく必要があるため、その役割を広域連合が担う。具体的な内容については正副連合長・部会長会議の場で協議いただいて、来月の連合会議等で諮って参りたい。

【質疑なし】

(7) ラグビーワールドカップキャンプ地について

…資料7による説明（小澤NPO法人南信州クラブ理事長）

2019年ラグビーワールドカップ日本開催時及び2020年東京五輪開催時等の国際イベント開催時に、チームキャンプ地の誘致・外国人観戦者の誘客及び芝生グラウンドの開発を一緒に取り組んでいきたい。

現在の取り組みは約1年前から動き始め、会議を2回開催している（スポーツバレー委員会）。委員会内の活動を3つの部会に分けて、それぞれで活動していく中で必要に応じて全体会議を開催する。

部会1…「キャンプ地誘致」構成は関係市町村及び関係競技団体。立候補は市町村単位のため当クラブは立候補できない。ラグビーワールドカップの正式なキャンプ地の実際の運営にはほとんど費用がかからない（東京五輪は交渉次第）。

部会2…「外国人観戦者誘客」主にキャンプ地が実現した場合の見学者・豊田スタジアム（飯田から約110km・約1時間半）でのゲーム開催時の観戦者及び開催全期間の宿泊者が対象。

部会3…「芝生グラウンド構築」ラグビーワールドカップ等で補助金を受けながら芝生グラウンドを開発する。標高500～600mで高地トレーニングになり得ることが決め手であるため、当地域は適合している。補助金を活用して整備できれば、当地域が「第2の菅平」になり得る。

豊田スタジアムでは約5試合が行われると考えられ、また9月開催時では他所よりも涼しい当地域は非常に適した宿泊地である。1試合1万人～2万人の外国人観戦者が見込まれ、その10分の1を誘客するだけでも実現する価値はある。ラグビー観戦者は富裕層が多く、滞在期間が長い(約50日間)。当地域は日本の中心に位置するため、飛行機を使えば全国12会場に行くことができる。チームとしてはショートステイだが、観戦者としては50日間宿泊できる本拠地になり得る。外国人は田舎や自然が好きなので、売り込むには絶好のチャンスと捉える。12月9日に県ラグビー協会の菅平関係者と共に阿部知事への陳情を行った。知事からは「誘致したい気持ちは同じ。誘致と誘客を合わせて実現に向けて協力したい」とのお言葉をいただいた。

ラグビーワールドカップキャンプ地については来春に具体的な要件が発表され、来夏から立候補の受付開始予定。飯田市を中心とした複数市町村で、南信州地区として立候補をお願いしたい。実現すれば南信州地区の名を広く海外に発信できる。キャンプ地に選ばれないとしても、立候補することで名を挙げておけば必ず誘客率は上げられると考える。また、南信州地区をひとつと考え、連携して全体を複合スポーツ地区施設として売り出すことを考えていただきたい。例えば東京五輪において1市町村1種目運動を行うという内容であり、当クラブでは7人制ラグビーを誘致したいと考えている。県外・海外からスポーツを通して多くの人が集まる南信州地区になれば嬉しい。各市町村においては部会に担当者を派遣していただき、協議を続けさせていただきたい。

【質疑】(熊谷高森町長)

誘致にあたり、必要な条件や施設等はどのようなものか。

【応答】(小澤NPO法人南信州クラブ理事長)

キャンプ地誘致の条件はホテル・サブグラウンド付の天然芝グラウンド・体育館・ジム及びプール。この詳細が来春以降に発表される予定。

#### (8) 後援依頼

…資料8による説明(北原事務局次長補佐兼庶務係長)

資料8-1について…「第30回飯田やまびこマーチ」(第30回飯田やまびこマーチ大会長)への協力についての後援依頼。平成28年4月23日(土)・24日(日)開催、主会場は飯田中央公園。後援内容は募集要項・大会誌等に後援団体として名称を掲載。大会の詳細については資料参照。

資料8-2について…「飯田自然エネルギー大学キックオフイベント シンポジウム『エネルギー自立で拓く!地域の未来』」(NPO法人南信州おひさま進歩 おひさま進歩エネルギー株式会社)の後援依頼。平成28年2月14日(日)、飯田市役所3階会議室にて開催。詳細については資料参照。

以上、ご審議願いたい。

【質疑なし、後援承諾】

#### 4 長野県

- 下伊那地方事務所…なし
- 飯田建設事務所…なし
- 飯田保健福祉事務所…なし

#### 5 今後の日程

12月25日(金) 片山善博講演会 18:30～ 鼎文化センター  
1月14日(木) 広域連合会議(301号)

#### 6 閉会…15:51